

	課題分析	授業改善策
国語	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える問題の正答率が、他の問題に比べて低かった。短歌の内容について、情景の描写や表現技法を基に捉えることに課題が見られる。 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題が見られる。	詩歌や文学的文章などの情景描写の読み取りや表現技法の効果について、考えさせる活動を多くしていく。また、学習した内容を生かす活動も取り入れて自分の考えをわかりやすく伝える力を高めていく。
社会	基礎力を活用・応用力につなげていくことに課題がある。また、社会に対する苦手意識は学年によって差はあるものの、授業の導入を意識的に工夫することで、苦手意識をもつ生徒も減少してきている。	調べ学習やレポート作成において、地図や年表などの資料を積極的に活用させ、資料を選択・判断して、それを適切に表現する活動を行う。授業の導入における工夫を継続し、授業に対する興味・関心を高められるようにする。
数学	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がみられる。	日常生活の事象を授業に取り入れるようにし、関数への興味を引き出す工夫をしていく。
理科	自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていない生徒がいる。	自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てられるように、実験の目的をしっかりと意識できるように授業を展開していく。
音楽	音楽を感受し、自分の考えで作品の良さ・価値を見出す能力や、主体的に工夫しながら表現活動に取り組む姿勢に個人差がみられる。	思いや考えを共有して学習を深める活動を通し、意見交換させる場面を増やしていく。 一体感を生み出す文化的行事等に精一杯取り組む雰囲気をつくっていく。
美術	感性や想像力等を豊かに働かせて、表現したり鑑賞したりする中で、作品に対する意見や自分の感性を発信・享受していく場面での積極性に個人差がある。	ICT機器を活用し、表現・鑑賞への関心を高め、自分や他者の考えや表現を楽しむ場面を設定していく。その中で、気付くこと、感じ取ることを細かく、多く体験させる。
保健体育	新体力テストの結果から、保体の授業を9割以上の生徒が楽しいと感じている。しかし、実施種目では特に瞬発力が低く、課題である。また、走力、跳力も低い。	指導方法の時間を工夫し、活動時間と運動量の確保を行う。また、自宅でも行える運動を明示し、運動を習慣化していけるように指導する。
技術・家庭	技術では簡単な釘打ちと釘抜き、家庭においては基礎的な縫い付けなどもしたことがない生徒が多く、指先や手を使った技術が身に付いていない生徒が多くいる。	基本的な技術を取り入れた体験を授業で行い、失敗や成功の経験をさせ、基本的な技術の習得や課題解決をする能力を身に付けさせる。
外国語（英語）	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ること、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと、学習した内容を活用し、自らの言葉で表現することに課題がみられる。	短い説明や物語などの文章全体を読み、情報を整理し、大まかな内容などを把握する。また、日常生活における出来事について、スピーチ原稿などの形式により、事実を伝えたり、出来事を描写したりする活動を取り入れる。